

2023.4 – 2024.3 Vol.15

〒163-1030 東京新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーN30階
TEL 03-5326-3432 <https://jamt-cancer.org>

NEW!

1. JAMTのプラットフォーム

◆ 『JAMT Café』 配信スタート

11月、JAMT製作のYouTube動画『JAMT Café』
(ジャムティ・カフェ)の配信を開始しました。
詳細についてはページ3をご覧ください。

◆ 『がんリファ』 リニューアル

<https://www.cancerit.jp/>

- がん種別記事
- 薬剤リスト
- FDA承認情報



Contents

1. 新プラットフォーム
2. 理事長ご挨拶
3. 『がんリファ』活動報告
4. 動画配信
5. 患者会・他団体への協力
6. 翻訳のヒント
7. 副理事長ご挨拶
8. 事務局からのお知らせ
9. 組織概要
10. 広告協賛企業
11. 《付録1》FDA承認リスト

◆ 『no+e』 アカウント開設



見にきてね!

2. 理事長ご挨拶

久保田 馨

2024年は元旦から能登半島地震、1月2日には飛行機事故と波乱に満ちた年明けでした。災害、事故への対処における情報の重要性も再認識されました。がんのような重い病気も個人にとっては被災同様に精神的衝撃があり、対処には正しい情報が必要です。

日本癌医療翻訳アソシエイツ（Japan Association of Medical Translation for Cancer : JAMT）は、がんに関する海外の重要な信頼できる情報を発信し続けてきました。昨年末からは、掲載した医療情報の背景を含めて解説した動画を作成し、YouTubeで発信しています。

さて、正確でわかりやすい翻訳を心がけてきたJAMTですが、Artificial Intelligence (AI) による自動翻訳の普及により、翻訳業は”Endangered Species”（絶滅危惧種）となってきました。今年はJAMTにとっても変革が必要な年になります。変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

3. 『海外がん医療情報リファレンス』 活動報告

◆ ボランティアサイト『海外がん医療情報リファレンス』 運営状況

《記事の翻訳・公開：約200記事》

主な英文記事の発信元：

- 米国国立がん研究所（NCI） - NCI ニュース
- 薬剤情報（A-Z）
- FDA 新薬承認ニュース
- 学会ニュース
 - ・ 米国臨床腫瘍学会（ASCO）
 - ・ 欧州臨床腫瘍学会（ESMO）
 - ・ 米国癌学会（AACR）
- 大学／施設ニュース
 - ・ MD アンダーソンがんセンター
 - ・ ジョンスホプキンス、ダナファーバーがん研究所、他
- その他
 - ・ キャンサーリサーチ U.K
 - ・ Cancer.Net（ASCO 患者サイト）

《動画制作・配信》

- 米国国立がん研究所（NCI）日本語字幕版 11本
- JAMT動画『JAMT Café』7本

◆ JAMT（ジャムティ）活動カレンダー 2023

4月	<ul style="list-style-type: none">・ 役員改選・ 毎月（4月～翌3月）、国際脳腫瘍ネットワークIBTA（International Brain Tumor Alliance）e-News 和訳を日本脳腫瘍ネットワーク（JBTA）に提供（JBTAサイトに掲載）
7月	<ul style="list-style-type: none">・ 2023年度第1回理事会開催（オンライン）
9月	<ul style="list-style-type: none">・ 『海外がん医療情報リファレンス』 <がん薬剤リスト>リニューアル
10月	<ul style="list-style-type: none">・ 『海外がん医療情報リファレンス』 <FDA承認情報>リニューアル
11月	<ul style="list-style-type: none">・ YouTube動画『JAMT Café』（ジャムティ・カフェ）配信開始
12月	<ul style="list-style-type: none">・ 事業年度終了、決算
1月	<ul style="list-style-type: none">・ 『no+e』に記事投稿開始 がんリファ note（ブログからの移行トライアル）
3月	<ul style="list-style-type: none">・ 2023年度総会／第2回理事会開催（オンライン）・ 2023年度ニュースレター（PDF版）を発行

4. 動画配信

11月、新YouTube動画『JAMT Café』（ジャムティ・カフェ）の配信を開始しました。

『海外がん医療情報リファレンス』からランダムに記事を取り上げ、専門家が解説しています。ご登録、高評価をお願いします！

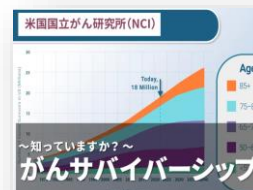
◆ 『JAMT Café』 動画

- [ニボルマブ（オプジーボ）と定位放射線の併用は放射線単独と比較して肺がんの予後を改善](#)
- [肺温存手術は一部の早期肺がん患者で有効](#)
- [紅茶の健康効果](#)
- [タグリッソ 肺がんの生存率改善](#)
- [運動とがん](#)
- [喫煙について1
カウンターの向こうの殺人者 Dr.イアン・ウォーカー](#)
- [喫煙について2
政治的に解決が可能 Dr.イアン・ウォーカー](#)
- [喫煙について3
受動喫煙、周囲への影響は予想以上 Dr.イアン・ウォーカー
\(3月公開予定\)](#)



◆ 『米国国立がん研究所（NCI）』 動画字幕

- [NCIミニット：紅茶の健康効果](#)
- [NCIミニット：世界規模の研究支援で4つがん研究が始動](#)
- [NCIミニット：遠隔診療とがんケア](#)
- [NCIミニット：がんの現状に関する米国年次報告書](#)
- [米国がんムーンショット計画：ヒト腫瘍アトラスネットワーク（HTAN）](#)
- [NCIミニット：化学療法の新しいアプローチ](#)
- [がん研究のデータの旅](#)
- [知っていますか？
がんサバイバーシップ](#)
- [NCIミニット：アルコールとがん](#)
- [NCIミニット：胞巣状軟部肉腫
免疫療法薬アテゾリズマブの承認](#)
- [NCIミニット：
リンパ腫様肉芽腫症
免疫療法で生存期間が10倍に延長](#)



5. 患者会・他団体への協力

◆患者会への活動協力

- IBTA e-Newsを和訳、日本脳腫瘍ネットワーク（JBTA）に提供
JBTAウェブサイト「[月刊ニュースレター](#)」に掲載



NPO 脳腫瘍ネットワーク
法人 JAPAN BRAIN TUMOR ALLIANCE

6. 翻訳のヒント（「用語注意」より）

用語	説明
[FDA] boxed warnings/ black boxed warnings	FDA用語集「 枠組み警告 」を 「 枠囲み警告 」へ統一しました。
CAR-T細胞療法	○ CAR-T × CART、CAR T 「CAR-T」とハイフンを入れた表記で統一します。 日本では、エビデンスに乏しい別の治療法と区別するためです。 [再掲]
significant cancer	「 臨床的に有意ながん 」 前立腺がんの場合、significant cancerとinsignificant cancerがあります。
子宮体がん／ 子宮内膜がん	どちらも間違いではありませんが、一般的に使われることが多い 「 子宮体がん 」を主として使用します。 検索でヒットするように併記するのが望ましいです。 初出時に「子宮体がん（子宮内膜がん）」と併記します。
metastatic colorectal cancer	[参考] 本来、 「 切除不能な大腸がん 」または 「 遠隔転移を有する大腸がん 」 翻訳上は「 転移性大腸がん 」としていますが、正しくは大腸がんの場合、 他臓器のがんが大腸に転移したものをいいます。

7. JAMT15周年、未来の社会に向かって

副理事長 野中 希

2009年4月非営利一般社団法人として開設されたJAMT（ジャムティ）は15周年を迎えます。2004年サイトの開設からは20年という年月、皆さんのボランティアサイトとして活動を継続できたことはこのうえなく幸いに思います。この1年も『海外がん医療情報リファレンス』サイトをはじめとしたボランティア活動へのご協力に深謝いたします。

今年度もサイトでは約200記事の最新情報を配信しました。また、《がん薬剤リスト》の約350の全薬剤ページを、自動で最新記事を閲覧できるよう編集と差し替えを行いました。《FDA承認情報》ページも同様に、原文の一覧表を反映して最新情報を提示しています。自走できるサイトへと一歩ずつ進めています。ご協力者の方々にはありがとうございました。

NCI字幕動画に加え、JAMT配信のYouTube動画「JAMT Café」も開始しました。一般の方に知っていただくためのわかりやすい内容と媒体となっていますので、ぜひご利用ください。

近年の自動翻訳技術の向上の恩恵を受け、これまで読めなかった英語の医療情報にも患者さんや一般の方々がアクセスできるようになりました。ひと昔前からすると奇跡です。

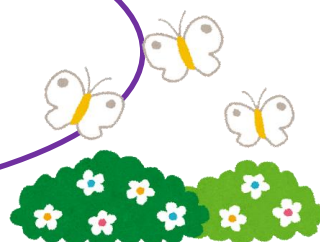
さらには自動翻訳は可能になっても、一般の方々に世界標準の医療が十分認知されているとは言えず、情報発信の重要性はより高まっていると感じられます。

これからも、日本の医療者、患者、家族そして一般の方々おひとりおひとりが共通の認識と目標をもって、JAMTのミッションを受け継いでいただき、がん診療のさらなる発展に寄与していただけることを願っています。

8. 事務局からのお知らせ

- 2023年会計報告(1月～12月)は、JAMTオフィシャルサイトへ3月中に掲載予定です。
- 2024年度は、旧ボランティアの継続は行いません。
がん医療の向上を願って活動のご意思のある方はGoogleフォームの欄に記載をお願いします。
- 賛助会員年会費（継続4,000円、患者さん2,000円）につきましては、任意となります。
振込先は次ページをご参照ください。

これまでのボランティア活動へのご協力に
JAMT一同、心より感謝申し上げます。
今後ご厚誼賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。



9. 組織概要

名称	一般社団法人日本癌医療翻訳アソシエイツ	
所在地	〒163-1030 東京新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーN30階	
連絡先	office@jamt-cancer.org	
	TEL 03-5326-3432 (常駐ではございません)	
設立年度	2009年4月1日	
ボランティア 翻訳所属 メンバー	ボランティア翻訳者：97名 監修者：53名 (2023年4月現在)	
2023年度 役員	理事長 副理事長 理事 理事 理事 監事	久保田 馨 医師／日本医科大学呼吸ケアクリニック 野中 希 医療翻訳者 がん患者遺族 東 光久 医師／奈良県総合医療センター 総合診療科 後藤 悌 医師／国立がん研究センター 呼吸器内科 高濱 隆幸 医師／近畿大学 腫瘍内科／ゲノム医療センター 寺田 真由美 映像翻訳者 乳がんサバイバー
監修者	《海外がん医療リファレンス》医療記事監修協力者一覧	
ご寄付/会費 振込先	【振込先1】 ゆうちょ銀行 【記号】 10030 【番号】 78505391 【名義】 一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ	【振込先2】 三菱UFJ 銀行 【支店】 仙川支店 【番号】 0072693 【名義】 一般社団法人 日本癌医療翻訳アソシエイツ

運営サイト

- 海外がん医療情報リファレンス
- JAMTオフィシャルサイト

<https://www.cancerit.jp/>

<https://jamt-cancer.org/>

「フォロー」
「いいね!」
お願いします

Twitter

- 海外がん医療情報リファレンス
- 日本癌医療翻訳アソシエイツ

https://twitter.com/cancer_ref

https://twitter.com/jamt_cancer

Facebook

- 海外がん医療情報リファレンス
- 日本癌医療翻訳アソシエイツ

<https://www.facebook.com/cancerreference/>

<https://www.facebook.com/jamtforcancer/>

10. 広告協賛企業（五十音順）

「海外がん医療情報リファレンス」運営支援をいただいた企業様に厚く御礼申し上げます。

第一三共株式会社
中外製薬株式会社

大鵬薬品工業株式会社
日本化薬株式会社

《付録1》 FDA承認リスト（2023年1月～2024年1月）

NO	掲載日	ニュースタイトル
1	2023年1月19日	FDA、大腸がんにつかチニブとトラスツズマブの併用を迅速承認
2	2023年1月19日	FDA、慢性リンパ性白血病または小リンパ球性リンパ腫にザヌブルチニブを承認
3	2023年1月26日	FDA、非小細胞肺がんの術後補助療法としてペムブロリズマブを承認
4	2023年1月27日	FDA、再発または難治性のマントル細胞リンパ腫にピルトブルチニブを迅速承認
5	2023年1月27日	FDA、ER陽性、HER2陰性、ESR1変異のある進行性または転移性乳がんにてラセトラントを承認
6	2023年2月3日	FDA、HR陽性乳がんにてサシツズマブ govitecan-hziy を承認
7	2023年2月9日	FDA、dMMR子宮内膜がんにてdostarlimab-gxlyを承認
8	2023年3月3日	FDA、内分泌療法を伴うアベマシクリブの早期乳がん適応を拡大
9	2023年3月16日	FDA、BRAF V600E変異を持つ低悪性度神経膠腫の小児患者にてダブルフェニブとトラメチニブの併用を承認
10	2023年3月22日	FDA、転移性または再発性の局所進行性メルケル細胞がんにてretifanlimab-dlwrを迅速承認
11	2023年4月3日	FDA、局所進行性または転移性尿路上皮がんにてエンフォルツマブ ベドチン-ejfvとペムブロリズマブの併用療法を迅速承認
12	2023年4月17日	FDA、造血器腫瘍における好中球回復期間の短縮と感染症の低減にてomidubicelを承認
13	2023年4月19日	FDA、治療歴のないびまん性大細胞型B細胞リンパ腫（非特定型）および高悪性度B細胞リンパ腫にてポラツズマブ ベドチン-piiqを承認
14	2023年5月19日	FDA、再発または難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫および高悪性度B細胞リンパ腫にてepcoritamab-byspを迅速承認
15	2023年5月31日	FDA、BRCA遺伝子変異陽性、転移性去勢抵抗性前立腺がんにてアビラテロンとプレドニゾン（またはプレドニゾロン）との併用でオラパリブを承認
16	2023年6月16日	FDA、特定の再発または難治性大細胞型B細胞リンパ腫にてglofitamab-gxbmを迅速承認
17	2023年6月20日	FDA、HRR遺伝子変異転移性去勢抵抗性前立腺がんにてエンザルタミド配合タラゾパリブを承認
18	2023年7月20日	FDA、新たに診断された急性骨髄性白血病にてキザルチニブを承認
19	2023年7月31日	FDA、子宮体がんに対する化学療法を併用したdostarlimab-gxlyを承認

NO	掲載日	ニュースタイトル
20	2023年8月2日	FDA、治療歴のある切除不能な大腸がんにはバシズマブを併用したトリフルリジンとチピラシルを承認
21	2023年8月9日	FDA、RET融合遺伝子陽性の非小細胞肺がんにはプラルセチニブを承認
22	2023年8月9日	FDA、再発または難治性の多発性骨髄腫にはタルケタマブを迅速承認
23	2023年8月11日	FDA、BRCA遺伝子変異陽性、転移性去勢抵抗性前立腺がんにはニラパリブ・アビラテロンとプレドニゾンの併用療法を承認
24	2023年8月14日	FDA、多発性骨髄腫に対して、エラナタマブを迅速承認
25	2023年8月14日	FDA、ブドウ膜黒色腫に対し、肝指向性治療薬としてメルファランを承認
26	2023年9月14日	FDA、プロジェクトリニューアルに基づき、テモゾロミドの新規および更新された適応症を承認
27	2023年9月26日	FDA、小児慢性骨髄性白血病に対し、ボスチニブを承認
28	2023年10月11日	FDA、BRAF V600E変異陽性NSCLCにはエンコラフェニブとビニメチニブの併用療法を承認
29	2023年10月13日	FDA、ステージIIIB/C黒色腫の術後補助療法としてニボルマブを承認
30	2023年10月16日	FDA、切除可能なNSCLCの術前補助療法／術後補助療法としてペムブロリズマブを承認
31	2023年10月20日	FDA、エヌトレクチニブの小児適応を拡大し、新しいペレット製剤を承認
32	2023年10月24日	FDA、骨異形成症候群に対し、イボシデニブを承認
33	2023年10月27日	FDA、上咽頭癌に対し、トリパリマブを承認
34	2023年10月31日	FDA、胆道がんに対し、ペムブロリズマブと化学療法の併用療法を承認
35	2023年11月7日	FDA、ペムブロリズマブの胃癌に対する適応を改訂
36	2023年11月8日	FDA、再発、切除不能大腸がんに対し、フルキンチニブを承認
37	2023年11月15日	FDA、ROS1陽性NSCLCに対し、レポトレクチニブを承認
38	2023年11月16日	FDA、HER2陰性胃または胃食道接合部腺がんに対し、ペムブロリズマブと化学療法併用を承認
39	2023年11月16日	FDA、乳がんに対し、カピバセルチブとフルベストラント併用を承認
40	2023年11月17日	FDA、生化学的再発（高リスクBCR）を有する非転移性去勢感受性前立腺がんに対し、エンザルタミドを承認

NO	掲載日	ニュースタイトル
41	2023年11月27日	FDA、デスモイド腫瘍に対し、ニログセスタットを承認
42	2023年12月1日	FDA、慢性リンパ性白血病と小リンパ球性リンパ腫に対し、ピルトブルチニブを迅速承認
43	2023年12月13日	FDA、高リスク神経芽腫の成人および小児患者に対し、エフルニチンを承認
44	2023年12月14日	FDA、進行腎細胞がんに対し、ベルズチファンを承認
45	2023年12月15日	FDA、局所進行性または転移性尿路上皮がんに対し、エンホルツマブ、ペドチンとペムブロリズマブの併用を承認
46	2024年1月12日	FDA、FIGO 2014分類ステージIII-IVA子宮頸がんに対し、ペムブロリズマブとCRTの併用を承認
47	2024年1月19日	FDA、局所進行または転移性尿路上皮がんに対し、エルダフィチニブを承認